

スマートジャパンの運用状況

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

2015年5月20日

当ファンドでは、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に注目し、銘柄を選別しております。当レポートでは、今年4月以降に新規に組み入れた銘柄のなかから、2銘柄をご紹介します。

■ファナック（電気機器）

- ・ 工作機械を自動制御する数値制御装置や産業用ロボットなど、製造業の生産現場で生産性向上のために使う機器が、同社の主力製品です。
- ・ 中国など新興国では、経済成長に伴って賃金が上昇しており、工場での生産性向上が求められています。こうしたなか、工場での生産性向上に寄与する同社製品に対する需要は強く、新興国の経済成長が同社成長の原動力となっています。
- ・ 同社の2015年3月期のROEは16.1%、売上高営業利益率は40.8%であり、上場企業の中でも相対的に高い水準にあります。
- ・ 同社は、2014年3月期までは連結配当性向30%を株主還元の方針としてきましたが、2015年3月期からはこれを60%に引き上げ、株主還元に積極的に取り組む姿勢を示しました。

同社の溶接ロボット



ファナック電源付アーク溶接ロボット ARC Mate 0iB + FH350i

（出所）同社ホームページ

■ラオックス（小売業）

- ・ かつては日本有数の家電量販店でしたが、業績悪化を受けて中国企業の傘下に入り、訪日外国人向けの免税品販売事業へと事業構造改革を遂げた企業です。
- ・ 政府の観光立国政策や円安を背景に、日本を訪れる外国人旅行者が増えています。2014年の訪日外国人は1341万人で前年比で約30%増えました。増加ペースは今年に入ってから加速しており、1-3月の訪日外国人は413万人と前年同期比で40%以上増加しました。こうした流れを受け、同社の店舗を訪れる外国人観光客は年々増加しています。
- ・ 同社の2014年12月期の業績は、売上高502億円、営業利益17億円でしたが、同社は2017年12月期に売上高1500億円、営業利益120億円を目指す中期経営計画を発表しています。

ラオックス銀座本店



（出所）同社ホームページ

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン（米ドル投資型）/（円投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信／国内／株式

ポートフォリオの状況

ポートフォリオの概要

(2015年5月15日現在)

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	11,338円	10,730円
設定来分配金累計	2,600円	1,500円
分配金再投資 基準価額	14,090円	12,255円

(※) 基準価額は1万口当たりです。

(※) 分配金は1万口当たり、税引前です。

(※) 分配金再投資基準価額は小数点以下を切り捨てて算出しております。

(2015年5月15日現在)

	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	90.9%	91.3%
マザーファンド	95.6%	96.0%
為替予約比率	93.4%	---

(※) 株式組入比率は、日本優良成長株マザーファンドを通じた、株式の実質組入比率です。

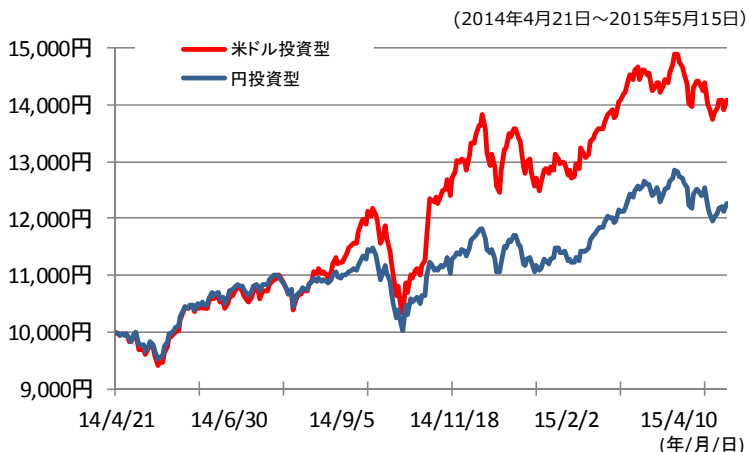
(※) 為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

(2015年5月15日現在)

	日本優良成長株マザーファンド
株式組入比率	95.1%
組入銘柄数	63銘柄

(※) 株式組入比率は日本優良成長株マザーファンドにおける株式の組入比率です。

設定来の分配金再投資基準価額の推移



※上記のグラフの分配金再投資基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。

※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

株式組入上位10銘柄

(2015年5月15日現在)

1	ファナック	業種 電気機器	組入比率 4.0%
工作機械の数値制御装置で世界首位。産業用ロボットでも世界大手。高水準のROEと株主還元の強化を評価。			
2	トヨタ自動車	業種 輸送用機器	組入比率 3.9%
ハイブリッド車での価格競争力と低燃費エンジンの大規模展開により、燃費規制が強まる中で優位性を高められ、業界内で相対的に高い営業利益率が続く予想。			
3	ミズグループ本社	業種 卸売業	組入比率 3.2%
自動車向けやスマートフォン向けの金型部品等の販売が好調で、高水準の営業利益率が続く予想。			
4	HOYA	業種 精密機器	組入比率 3.2%
買収したメガネレンズ事業の寄与による利益成長や積極的な自社株取得等から、ROEが上昇に向かうと判断。			
5	村田製作所	業種 電気機器	組入比率 3.0%
スマートフォン、車載向け電子部品の生産が好調に推移しているほか、買収企業が新たな収益源に成長する可能性があり、営業利益率が高まると期待。			
6	ラオックス	業種 小売業	組入比率 2.9%
事業構造改革を経て、訪日外国人向け免税店事業へと業態転換。訪日外国人増加の恩恵享受を期待。			
7	鹿島建設	業種 建設業	組入比率 2.7%
国内建設投資の拡大と工事採算の改善による業績拡大から、中長期的に営業利益率が改善すると予想。			
8	東ソー	業種 化学	組入比率 2.7%
円安や機能製品の需要拡大の恩恵を取り込むことで収益拡大ペースが加速。また、バランスシートが改善したことで、株主還元余力も高まっていると判断。			
9	富士フイルムホールディングス	業種 化学	組入比率 2.6%
医薬品事業の成長ポテンシャルが高いことに加え、株主還元へ積極的な姿勢を示しており、ROEは中長期的に上昇基調にあると判断。			
10	ドンキホーテホールディングス	業種 小売業	組入比率 2.5%
多様な品揃えや深夜営業等の利便性の高から、訪日外国人を中心に来店客数の増加基調が続いており、中期的に高い営業利益率が続く判断。			

(※) 組入比率は、日本優良成長株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成：エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信／国内／株式

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

■ 購入時

購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）

「米ドル投資型」と「円投資型」の各ファンド間でのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、購入時手数料の一部または全部の割引を受けられる場合があります。
詳しくは販売会社にご確認ください。

■ 換金時 換金手数料：ありません。

信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社について

-2015年5月20日現在-

商 号	登 録 番 号	加 入 協 会			
		日 本 証 券 業 協 会	一 般 社 団 法 人 日 本 投 資 顧 問 業 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 先 物 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 第 二 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会
(金融商品取引業者)					
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	
カブドットコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
西日本シティ銀行証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		

＜本資料に関するお問い合わせ先＞ 岡三アセットマネジメント株式会社 カスタマーサービス部
フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）